

ふりかえりプリント 10月第2週①

答えのらんをうしろにのってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

A 数と計算

① 計算をしましょう。

$$4 \times 7 = \boxed{} \quad 9 \times 6 = \boxed{}$$

$$6 \times 9 = \boxed{} \quad 2 \times 8 = \boxed{}$$

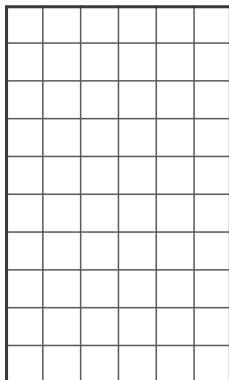
$$8 \times 5 = \boxed{} \quad 7 \times 4 = \boxed{}$$

② 計算をしましょう。

$$37 \div 5 = \boxed{}$$

③ 筆算でしましょう。

$$978 \div 6$$



答え

④ 30cmは6cmの何倍ですか。

答え

B 図形・測定

① 正方形には、直角がいくつありますか。

答え

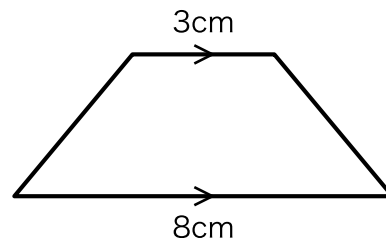
② 直径が20cmの円の半径は何cmですか。

答え

③ 直角2つ分の角は何度ですか。

答え

④ この四角形の名前を書きましょう。



答え

C 数とデータ

① すきな秋の食べ物しらべの表です。いちばん少ないのは何ですか。

食べ物	さつまいも	くり	かき
人数(人)	13	8	5

答え

② ①の表で、いちばん多いものといちばん少ないもののちがいは何人ですか。

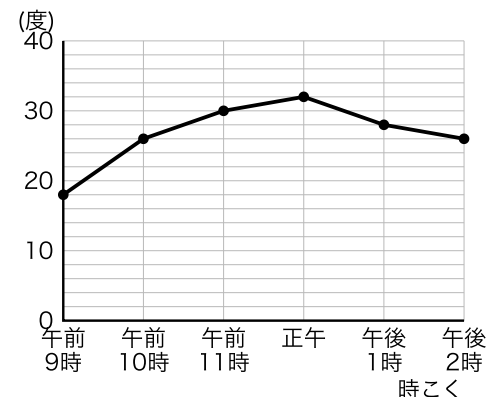
答え

③ 0.1を9こ集めた数はいくつですか。

答え

④ 日なたの地面の温度のグラフです。温度がいちばん大きいのは何時ですか。

日なたの地面の温度



答え

こたえ (おもて)

A

① $4 \times 7 = 28$

$9 \times 6 = 54$

$6 \times 9 = 54$

$2 \times 8 = 16$

$8 \times 5 = 40$

$7 \times 4 = 28$

② $37 \div 5 = 7$ あまり2

③ 163

④ 5倍

B

① 4つ

② 10cm

③ 180度

④ 台形

C

① かき

② 8人

③ 0.9

④ 正午

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

10月 第2週 (1まい目)
| ①=2年 ②=3年
③④=4年

4-10-2-1 v3



まちがいを見つけたら教えてください

秋の空が高く見えるわけ

名前

音読サイン

夏の空と秋の空を、写真でくらべてみると、ちがいがよく分かります。秋の空は、青がこく、ずっと高いところまで広がって見えます。同じ空なのに、どうして高く感じるのでしょうか。

一つには、雲のできる高さがちがいます。夏によく見える入道雲は、低いところからより上がって、頭の上まで太くのびてきます。近くにかべが立っているようなので、空はせまく見えます。これに対して、秋によく出るうろこ雲やすじ雲は、とても高いところにできます。小さなつぶがはるか上にならぶので、空のおくゆきが分かるのです。

もう一つは、空気のかわきです。秋になると空気の中の水じょう気がへり、遠くまで見通せるようになります。近くの山だけでなく、その先の山まで見えると、空も広く感じられます。空の青がこく見えるのも、同じわけです。

秋の空が高いのは、空が動いたからではありません。雲の高さと空気のかわきが、そう見せているのです。

(1) 「見通せる」の意味に合うものを一つえらび、記号に○をつけましょう。

- ア 空の色がこくなる
- イ じやまがなく、遠くまではっきり見える
- ウ 近くのものだけがよく分かる
- エ 夜でも明るく光る

(2) 秋の空が高く見えるのは、なぜですか。一つえらび、記号に○をつけましょう。

- ア 空そのものが上に動くから
- イ 雲が高いところにでき、空気がかわくから
- ウ 入道雲が毎日出るから
- エ 山が低くなるから

(3) 夏によく見える雲の名前を、文しようにから三字で書きぬきましょう。

(4) 秋になると、遠くの山まで見えるようになるのは、なぜですか。文しよの言葉を使って書きましょう。

--	--	--	--	--

書くときのポイント

- 「くから。」の形でおわらせる。
- 「水じょう気」という言葉を使う。

こたえ (うら)

- 問1 イ
- 問2 イ
- 問3 入道雲
- 問4 (例) 空気の中の水じょう気がへって、遠くまで見通せるようになるから。

〈○のつけ方〉
問1～問3は、答えとびったり同じなら○。
問4は〈水じょう気がへる〉ことが書けていれば○。

4-10-2-1 v3

4年 説明文